

令和 7 年度 事業報告書

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

I 概 況

- ① 令和 7 年度も、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体であるとの理念の下、県内各単位会との連携協調を図り、事業活動においては事業の公益性を常に意識し、広く県民の皆様に向けた税知識の普及・啓蒙を図るとともに、税制に関する提言活動、税に関する広報事業、租税教育活動、等の法人会活動の原点である「税」に軸足をおいた各施策に取り組み、おおむね計画通り実施することができた。
- ② 組織基盤の強化については、各単位会において会員増強運動を展開したものの、会員の減少傾向に歯止めがかからなかった。その中で、3 つの単位会においては会員の増加が図られた。
- ③ 税制改正提言については、税制の三原則である「公平・中立・簡素」を前提に「山口県連として特にお願いしたいポイント(4 項目)」を作成し、ポイントを絞って提言を行った。
- ④ 小中学生を中心とした若年層への租税教育や地域社会への広報を積極的に実施し、税に対する意識の高揚を図ることができた。

II 主な事業活動

1. 税を巡る諸環境の整備改善等を図ることを目的とする事業

(1) 税制提言事業

① 税制改正への提言

令和 7 年 6 月 9 日(月)に開催された税制委員会において、令和 8 年度税制改正に関する検討テーマに基づき協議、検討を行うとともに、各単位会で実施された税制改正アンケート調査結果に基づいて税制改正要望事項について取りまとめ、山口県連としての令和 8 年度税制改正提言事項を作成し全法連へ提出した。

② 提言活動の実施

令和 7 年 9 月 26 日(木)に開催された全法連第 54 回理事会で決議された、「令和 8 年度税制改正に関する提言」の実現に向けて、県連と各単位会が一体となり、10 月から 12 月にかけて地元選出の国会議員、県内の各自治体の首長等に対して県連・単位会の役員及び税制委員により提言活動を実施した。

(2) 広報事業

「税を考える週間」を中心に、広く県民の皆様に向けた税知識の普及、納税意識の高揚を図ることを目的に、ラジオ広報(情報番組への生出演による広報活動等)、県内 7 か所のデジタルサイネージでの広報、県内 2 つのケーブル TV にて CM の放映、JR 駅構内や商工会議所掲示板へのポスター掲示などの広報活動を実施した。

① ラジオ広報の実施

各単位会から 11 名の方々に、山口放送(KRY ラジオ)、FM 山口のラジオ番組に生出演していただき、広く県民の方々に税に関する啓蒙とともに、それに係る法人会活動の関わり等について広報活動を行った。またラジオ番組内において「税金クイズ」を 3 回実施し県民の皆様から多数の応募をいただき、好評を得ることが出来た。

② デジタルサイネージ・ケーブルテレビ CM・ポスター等を活用した広報

税を考える週間の前後において、県内 7 か所のデジタルサイネージ（1 か月～3 か月）、2 か所のケーブルテレビの CM、JR 新山口駅構内や柳井商工会議所の掲示板へのポスター掲示を実施し、法人会と「税を考える週間」を県内に広く PR することができた。

（3）講演会事業

令和 7 年度の講演会事業は、第 27 回「山口県青年の集い」宇部大会において、管理栄養士で野菜ソムリエ協会講師の中沢るみ氏を講師にお招きし、「体内年齢を若く保ち、パフォーマンスを高める食べ方のコツ」と題して記念講演会を開催し、非常に好評であった。

（4）法人会支援事業

① 研修活動の充実

研修活動は、会員、非会員を問わず自己啓発を支援することを目的に法人会において重要な事業であり、研修委員会を令和 8 年 3 月 19 日（木）に開催し、研修参加人員の増加、研修参加率の向上に向けた協議を行うとともに、これからの研修活動の展開について協議を行った。

県内各単位会では、新型コロナウイルスをきっかけとして、インターネットセミナーやオンライン会議の開催、地元ラジオを活用した研修会の取り組み、参考図書の配布等、新たな研修事業に向けた取り組みが行われている。令和 7 年度の研修会の実施回数は 139 回（前年比+15 回）、参加人数は 6,302 名（前年比+1,608 名）となり、前年を下回る結果となったが、税制・税務に関する研修参加人数は増加しており、一定の成果は上がっているものとする。今後は、開催時期や開催方法、講師の選定などに工夫を凝らし、更なる研修活動の活性化を図ってまいりたい。

② 広報活動の充実

第 1 回広報委員会を令和 7 年 4 月 4 日（金）に、第 2 回広報委員会を令和 7 年 8 月 7 日（木）に開催し、広く県民・市民の方々に対する税の啓発・啓蒙、法人会の知名度向上を図るための広報施策について協議を行った。令和 7 年度の広報活動としては、新聞広報と全国納税貯蓄組連合会主催の「税に関する作文コンクール」の優秀作品のラジオでの朗読については費用対効果を考慮した結果、一旦休止することとした。昨年度に引き続き、すべての単位会よりラジオにご出演していただき、法人会の活動や「税を考える週間」について PR していただいた。また、新たな取組として県内 7 か所のデジタルサイネージでの広報、岩国市と萩市においてケーブルテレビでの CM 放映、JR 新山口駅構内と柳井商工会議所の掲示板に法人会ポスターの掲示を実施した。

これからの広報活動のあり方として、法人会としても進めているデジタル化・DX 化に前向きに取り組んでいき、次世代を担う若年層への浸透を意識した活動に引き続き取り組んでいく方針である。

2. 会員増強・会員支援及び会員の福利厚生等に資する事業

(1) 会員増強活動の状況

会員増強活動については、法人会活動を充実させるためには組織基盤強化が重要であることから、組織委員会が中心となり会員数の増加に取り組んだものの、令和7年12月末の会員数は、8,563会員となり、対前年226会員の減少となった。その中で、光・熊毛郡法人会、長門法人会と萩法人会の3会は前年比増加を図っていただいた。特に、萩法人会においては、11年連続で増加を継続していただいている。なお、徳山周南法人会の169社の減少理由は実体のない法人会会員を一括して退会処理を行った一時的な要因であり、今後に影響を及ぼすものではない。

(2) 福利厚生制度の推進

法人会の財政基盤をより強固なものにするために、福利厚生制度の推進は避けられず、とりわけ、「加入企業数」に着目した“チャレンジ100”が令和6年度から継続実施された。厚生委員会を中心として全会丸となり協力3社との連携を一層強化した取り組みが展開されたが、実績においては全国平均を下回る結果となった。しかしながら、恒常表彰項目である大型総合保障制度の保険料収入実績、さらに大型総合保障制度の役員企業加入率と高成長を長期間維持している県連の3項目について表彰される見通しである。

また、収入保険料が対前年103%以上と顕著な成果を挙げた単位会表彰においては、山口法人会、岩国法人会の2会が受表彰となります。

(3) 青年部会、女性部会の主催事業

法人会の主要事業である租税教育活動の中心部会として、青年部会では県内の121校（昨年度実績139校：-18校）、234クラス（昨年度実績239校：-5クラス）で「租税教室」が開催された。県内の小・中学校も統合や廃校などで減少傾向にあることが、実施校数の減少要因となっていると考えられる。

また令和10年度に、全国青年の集いを山口県にて開催することが決定し、実行委員会が立ち上がり準備を開始したところである。

女性部会においては「絵はがきコンクール」の実施を主要事業に、税の重要性について未来を担う子供達に伝える大きな役割を果たすとともに、情報交換を活発化させ租税教育に対する積極的な活動が展開された。また、令和7年度の税に関する絵はがきコンクールについては、各会女性部会員の皆様の熱心な取り組みの結果、県内の参加校数191校（対前年+4校）、応募作品は5,476作品（対前年+241作品）と、過去最高の参加校・応募作品数となった。参加率は県内の約70%の小学校が参加しており、女性部会の皆様の地道な活動が実を結ぶ形となった。

青年部会及び女性部会の会員数は、青年部会362会員（対前年19会員の減少）、女性部会331会員（対前年12会員の減少）となっており、会員数の減少が喫緊の課題となっている。

(4) 女性部会連絡協議会主催事業

令和7年8月27日（水）に、第17回「租税教育活動シンポジウム」光大会が光・熊毛郡法人会女性部会の主管で開催された。シンポジウムにおいては、㈱異設計コンサルタントの代表取締役で光・熊毛郡法人会 副会長の光井 謙二氏による「健康経営と会社経営」と題した講演会と山口県体操協会常任理事の江藤 康予先生による「・・・健康は日々の生活から・・・簡単にできるストレッチ」と題した講演・実演会が実施され、大変好

評であった。その後はランチミーティング形式の会員交流会が行われた。(参加者数 129 名)

令和 7 年 12 月 2 日(火)に開催された女性部会定時連絡協議会では、「絵はがきコンクール」の山口県代表作品の選出が、昨年に引き続き外部からの選考委員として、絵の専門家としてイラストレーターの桧垣先生、また税務当局より山口税務署の高橋副署長と山本税務広報広聴担当官の三名の方に加わっていただき選考会が実施された。

(5) 青年部会連絡協議会主催事業

第 27 回「山口県青年の集い」宇部大会が令和 7 年 9 月 19 日(金)、宇部法人会青年部会の主管で開催された。管理栄養士で野菜ソムリエ協会講師の中沢るみ氏を講師にお招きし、「体内年齢を若く保ち、パフォーマンスを高める食べ方のコツ」と題して記念講演会が開催された。また、租税教育アワーにおいては各単位会による租税教育の活動状況の発表会が行われた。

(参加者数 111 名)

(6) 会員向けサービスについて

法人会会員の皆様に向けた会員サービスとして展開してきた無料法律相談サービスについては、県下 9 拠点にて法律事務所と提携し、県内全域をカバーできるようサービスを行っている。また、PET 検診割引サービスについても、サービスを継続中である。

3. 管理関係

(1) 公益法人制度改革への対応

令和 7 年 4 月 1 日の改正公益認定法と公益法人会計基準が施行されることに伴い、公益法人においては令和 8 年 3 月末の山口県への報告事項から、報告内容や報告時期などが一部変更となることから、全法連と連携して、対応について各単位会と情報の共有を図った。